



## 益々のご活躍を！ ～ i Animo para siempre!～

### 2017年度永年功労表彰式の開催について

5月13日(土)船橋市公民館会議室において、2017年度永年功労表彰式を開催いたしました。

本年度から10年表彰は記念品を送付し、20年表彰と30年表彰は当日ご出席いただきました表彰者の皆様に山岸委員長より記念品として表彰盾が贈られました。残念ながらご都合でご欠席された方々には後日発送にてお届けいたしました。

#### 《10年表彰者》

173名(記念品として10年表彰トスコインを送付)

#### 《20年表彰者》

三好 正次氏、大日向 明知雄氏、金子 秀之氏、  
小林 隆子氏、高橋 一氏、榎本 清之氏、大西 正一氏

#### 《30年表彰者》

青木 譲氏、住沢 武美氏



当日ご出席いただいた皆様  
(前列左から 三好氏、山岸委員長、高橋氏、  
後列左から 大日向氏、金子氏、小林氏)

表彰者の皆様よりお言葉を頂戴しましたのでご紹介いたします。

#### ● 大日向 明知雄(おおひなた あちお)氏

本日はありがとうございます。私は県の割り当ては最近受けていないのですが、習志野市では3種を中心に、時には2種なども担当させていただいています。「継続は力なり！」ではありませんが、何とか頑張って若い皆と楽しんでやりたいと思います。よろしくお願いします。

#### ● 金子 秀之(かねこ ひでゆき)氏

私が審判資格を取ったのは中学校3年生の時、この5月で36歳になるのですが、まだあと10年は頑張れるかな?と思っています。これからもよろしくお願いします。



大日向氏



金子氏

#### 目次

・2017 年度永年功労表彰式	・・・1～2	・試合前の「打ち合わせ」について	・・・10～12
・決勝審判員インタビュー	・・・3～5	・推薦審査、昇級認定審査のお知らせ	・・・13～16
・今日も地域で頑張っています！！	・・・6	・講習会のお知らせと申込について	・・・16
・ユース&若手審判員研修会のお知らせ	・・・7	・強化部より～報告と紹介～	・・・17
・昇級者のみなさま	・・・7	・郡市協会だより	・・・18
・レフェリーフィットネスコラム	・・・8～9	・その他お知らせ	・・・18



● 小林 隆子(こばやし たかこ)氏

本日はありがとうございます。私は学生時代にあまり運動をしていなくて華道部や美術部という文化系でしたので、まさかこんなに永く審判をするとは思っていませんでした。やはり一番最初に出会った山岸さんというか馬場さん(山岸委員長の旧姓)との付き合いでこれまでやってこれたのかな?と思います。本当にありがとうございました。



● 高橋 一(たかはし はじめ)氏

私も審判を始めたのは地域の少年サッカーの立ち上げで「審判がないからやってくれない?」と言われて地元の方々とも知り合いになり3級を取り、何とか今まで続いています。ただ2年前に腰を痛めて手術をした関係で県の派遣審判は無理なのですが、地元の小学3年生と一緒に活動して、今は彼らに遊ばれています(笑)。今後もよろしくお祈りします。



● 三好 正次(みよし まさつぐ)氏

千葉県サッカー協会でも永年表彰があるということで30年表彰には1年足りなかったのですが、20年表彰も可能という事で今回表彰して頂く事になりました。審判は1988年から続けていますが、実は1967年に関西で19歳の時に当時3級は講習を受ければ良かったので取って3年ほど活動しましたが、転勤で東京に来て失効してしまいました。その後子供がサッカーを始めたので活動を再開し、2級も目指したかったのですが地元にしかりした審判組織がなかったため、審判協会もつくり現在に至っています。あと1年で30年になるので、来年は70歳になりますが、まだ頑張りますのでよろしくお祈りします。

当日、都合によりご欠席された方々からメッセージを頂きましたので、ご紹介いたします。

● 青木 譲(あおき ゆずる)氏

「審判資格取得から30年と自分でもよくやってきた。」と感じております。当初は「チーム帯同審判」としてチーム登録用に取得したのがきっかけでしたが、選手として30年プレーし、いざ指導者としてレフェリーを行うと審判員の苦勞が解ってきたように感じます。これまで私が選手としてプレーをし、レフェリングをされてきた方々にはこの場をお借りして「ありがとうございました。」と感謝の気持ちです。今までは選手としての立場で異議を申ししてきましたが、今は選手の立場も考えながら笛を吹ければと思います。体力的にも厳しい年齢になりますが出来る限り選手達に迷惑をかけないよう笛を吹ければと思います。今後とも審判委員会の益々の発展をお祈りいたします。

● 住沢 武美(すみさわ たけみ)氏

3月末で教員生活が定年退職となったのを期に、審判活動も区切りをつけることに致しました。自分ではまだまだ吹ける自信はあるのですが、後輩諸君に託したいと思います。今までお世話になりました2種・3種の関係者の皆さんに改めてお礼を申し上げます。また、今後も千葉県サッカー協会および貴審判委員会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

● 榎本 清之(かしもと きよゆき)氏

子供が小学1年生で木更津市の高柳FCに入部する際にコーチと一緒に入部し、半年後に4級審判員を取得し、それから22年間。今後も更新していければと考えています。本日は、ありがとうございました。

山岸委員長祝辞

本日は誠にめでたうございます。お話を聞いて継続することは非常に大変なことだと思います。やはり、身体もそうですが心が若い方はいつまで経っても若いのだな!と思いました。みなさん大先輩ですが、県の派遣審判が難しくなっても色々な場で審判はつながりが持てると思います。高橋さんもおっしゃっていましたが、子供たちと一緒に!とか、若い審判員を地元で教えるとか、改めて皆さまのような方が審判活動を支えて頂いているのだと感じました。これからも審判委員会を暖かく見守っていただきたいと思ひますし、是非皆さまの豊富な経験を生かしてアンバサダーのような存在になっていただきたいと思ひます。これからもよろしくお祈りします。

# 日本クラブユース (U-15) サッカー選手権 千葉県大会 決勝戦

2017年5月28日(日)13:30キックオフ ~フロンティアサッカーフィールド~

WINGS U-15 0(0-0, 0-0)0(PK 3-5) FC.ラルクヴェール千葉

主審:大勝 雅禎氏 副審:浅賀 達也氏、安藤 学氏 (文中敬称略)

## Q.まずは試合を終えての感想をお願いします！

大勝：決勝戦でのレフェリングは初めてでしたが、最後の最後までしっかり行い、無事に終わることが出来て良かったです。

浅賀：無事にサポートすることが出来て良かったです。

安藤：大勢の観客の中で緊張しましたが、最後までしっかりと行えて良かったです。



(左から 安藤氏、大勝氏、浅賀氏)

## Q.レフェリーを行う上で、普段の生活でどんな事に心掛けていますか？

大勝：日々、仕事が終わら階段を使って歩くようにしています。また、トレーニングする時間を取るのが難しい時もあるため、ヘルスケアには特に心掛けて、ストレッチ運動も取り込んでいます。

浅賀：怪我をしないようにストレッチを欠かさず行っております。また、電車通勤の際に降車駅は2つ手前の駅を選んで歩くようにもしています。レフェリー活動の際には、なるべく自転車で対応しています。

安藤：仕事は毎晩遅くまでかかってしまうので、電車の乗り降り時には歩くようにしています。会社に筋トレマシーンが置いてあるので、活用するようにしています。BSテレビでサッカー観戦と同時に、レフェリングのイメージトレーニングも行っております。



## Q.シーズンに入りました。今年度はどのような目標を持っておられますか？

大勝：今秋には2級昇級チャレンジをし、来春には昇級出来るように頑張りたい！

浅賀：「2級を受けても大丈夫！」と、言われる事を目指して頑張ります！

安藤：割当を受けるようになってから2シーズン目なので、より上のカテゴリーの、どんな試合にでも対応できるようにする事。そして、大勝さんに負けぬように頑張っていきます！！(笑)

## Q. 今日の試合をうけて、「今後はこうしたい」等、やるべき事があれば教えてください！

大勝：手を使ったファウルを課題にし、より明確な見極めを目標にしていきたいと思いました。

浅賀：カテゴリーに応じ、しっかりレフェリングをしていく事を当たり前としてやっていきたい。

安藤：良い位置にいる事が何よりと考え、ポジショニングをより意識したレフェリングを行っていきたい。

## Q. 最後に、レフェリーニュース読者の皆さんへ一言、お願いします！

大勝：一生懸命やることで、レフェリングの上達を体感しています。審判員の立場から、千葉県のサッカー発展に向け、盛り上げていきましょう！

浅賀：レフェリーをやるからには、少しでもこういった決勝戦で出来る事を目標にしてやっていきましょう！

安藤：サッカーは、選手が主役です。安心・信頼出来るレフェリングが出来れば、選手の能力を引き出す事にもなるので、やめられないです！4種にてコーチングをしていて指導しておりますが、指導だけではなくレフェリーもやってみるのも良い事だと思います！

# 平成29年度 第22回千葉県サッカー選手権大会 決勝戦

2017年4月9日(日)13:00キックオフ ~フクダ電子アリーナ~

ブリオベッカ浦安 1(0-0,1-0)0 江戸川大学サッカー部

主審:清水 勇人氏、副審:中島 智弘氏、森田 秀一氏、第4の審判員:山崎 久氏(文中敬称略)

前日から雨が降り続き、決勝戦も途中で雨が激しく降るとい非常に難しいコンディションの中、無事に決勝を終えた審判団にフクダ電子アリーナでインタビューを行いました。

## Q まずは試合を終えての感想を教えてください。

清水 : 試合は大きな問題もなく無事終わったことは良かったですが、まだまだ個人的には改善しなければならない余地はあったと思います。特に雨というコンディションだったので、スライディングとかでチャレンジするのに対して、どう選手の安全を配慮した判定をできるか? 気をつけました。

中島 : 雨の中で難しいシーンもあるか? と思いましたが、清水さんのリードもあって無事に終えることが出来て良かったです。

森田 : 雨の状況で、一瞬の判断など勉強になりました。

山崎 : この大会に参加できて嬉しく思いましたし、試合自体は大きな問題となるシーンは無かったと思いますが、審判チームで事前の打ち合わせや連携など勉強になりました。

## Q 本日は雨の中での試合という事で、特に事前に打ち合わせしたことなどはありますか?

清水 : それはあります! 特に、ボールが跳ねるとか予期しない状況が起こりるので、ハンドとかアフタータックルなどが起こりやすいので、そういうところをしっかり見よう! と打ち合わせしました。

## Q その中で課題として取り組んだことは?

清水 : 出来るだけゲームを切らずに続けさせることです。もちろん状況によっては止めたりしなければならぬのですが、それは出来ていたんじゃないですかネ!

森田 : 前回は副審を担当した時に、オフサイドの見極めとライン際で突っ込んでくる選手の両方を見る副審の動きを研修でも言われていたので、その視点をどこに置くか? を意識して試合に臨みました。

山崎 : ベンチの選手がアップする時に規定の場所で行っているか? ケアすると共に、清水さんのレフェリングや4thとしてAIとどうコミュニケーションを取るかなどを勉強しようと思いました。

## Q 毎週末に試合があるのですが、それに向けた準備や常に行っているルーティンは?

清水 : 特別なことはせず、トレーニングはいつも通りしていますし、それがルーティンといえばそうですかね?

中島 : 仕事が不規則なので、時間がある時に少しでも動くようにしています。

森田 : 私は夜は時間が取れるので、ジムなどでトレーニングしています。

山崎 : 特にルーティンはないですが、試合が終わった時に次の試合に向けて身体のケアをしています。この歳なんで! (笑) 身体を大事に永く動けるように心掛けています。

## Q 審判活動におけるモットーは?

清水 : 割り当ては基本全部マル! (笑)

中島 : とにかく細く長くやることかな? やれるところまで、せっかく仲間もたくさんいるので!

森田 : 試合の中で(課題を)考えながらすることかな? 何も考えないとそのまま終わってしまうので、...

山崎 : 出来るだけ自分もサッカーを楽しみながらレフェリングできれば! と考えています。



Q みなさんプレーヤーとしても経験がありますが、その頃と審判になって審判への印象など変わったことはありますか？

清水：プレーヤーの時は審判のことなんて考えていなかったかな～！でも、審判になって「やっぱりサッカーって奥が深いんだな！」と思います。色々考えなければいけない事もたくさんありますし、まだまだサッカーをわかっていないな！と(笑)

一同：深いね～～！

清水：深いからサッカーは面白いのですよネ！

中島：やはり、見えない世界が見えたな！と思います。選手の時では運営とか時間管理とかは一切考えなかったのですが、そういう裏方的な事もあるので、試合を運営するのも大変だ！と感じました。

森田：私はキーパーだったので、キーパー目線と試合の中に入って見える世界が違い、それが面白いと思います。

山崎：プレーヤーの時はチームの事しか考えていなかったし、お父さんコーチになっても同じでしたが、審判になってどんなゲームを見ても審判目線で見えるようになって、そこが大きな違いですネ！(笑)また、サッカーだけでなく、バスケットボールなど他のスポーツを見ても審判目線になってしまっています(苦笑)。



Q 中島さんと森田さんは20代で若いのですが、若い審判に一言！

中島：仕事は選びましょう！！(一同：爆笑)時間を作れる、土日に休める仕事の間違いないです！(苦笑)とても難しいことですけどネ！

森田：私は土日休めるのですが、(仕事は)色々選択肢があると思いますが、覚悟を持って一つに絞って決めてください！



Q 清水さんと山崎さんは家庭をお持ちなのですが、審判活動と家庭の両立で工夫していることは？

清水：特にないですネ！理解してくれていると思いますヨ！家族の理解に支えられています。

山崎：私は子供が3人いるのですが、3人とももう離れちゃったので、「勝手にして！」っていう感じで！(笑)

Q 最後に、新年度が始まりましたが、本年度の目標・抱負は？

中島：(真っ先に!)怪我をしない！

清水：なんだよ～！(言われちゃったな)コンディションを整えて常に良いパフォーマンスをできるように自己管理をシッカリして試合で頑張ります！

森田：とことんやり抜きます！

山崎：永く続けるために身体のケアをシッカリして、少しでも良いレフェリングができるように日々努力します。

一同：お疲れ様でした～！



(左から 森田氏、山崎氏、清水氏、中島氏)





## 今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2017年6月4日(日)千葉市Pリーグ ～花島公園グラウンド～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は「千葉市Pリーグ」で審判を担当した方々にインタビューしました。渋江氏は今年70歳ですが現役で頑張っておられ、他の方もベテラン審判として活躍しておられます。

- |                      |                          |                |
|----------------------|--------------------------|----------------|
| ①:氏名(敬称略)            | ②:審判歴                    | ③:審判になったきっかけは？ |
| ④:これまで長く審判して来られた理由は？ | ⑤:これだから審判は辞められない審判の魅力とは？ |                |



渋江氏

- ①:渋江 政俊(しぶえ まさとし)
- ②:約 20 年
- ③:私の子供がサッカークラブに入団した事で帯同審判の必要性が生じた結果
- ④:子供の頃からスポーツが大好きでスポーツと何らかの繋がりを持っていたいから
- ⑤:試合が終了して、審判のミスが有っても何かやり遂げた達成感を持つことが出来るからと、あと一つはPリーグで審判仲間と交流が出来ること



上岡氏

- ①:上岡 和生(かみおか かずお)
- ②:約 20 年
- ③:もともと陸上競技をやっていましたが、娘がサッカーを始めてそのコーチをしたのがきっかけです
- ④:やっぱりサッカーが好きで周りの人に自慢できるからです
- ⑤:選手とのコミュニケーションが普段の会話と違って、いつも新鮮に感じるのが魅力です



高萩氏

- ①:高萩 守(たかはぎ まもる)
- ②:約 26 年
- ③:長男がサッカーを始めたので、自分自身サッカーの経験はありません
- ④:家族の理解、特に妻には感謝しています。土日はほとんど審判で家を留守にしても、あまり愚痴も言わず好きにさせてもらいましたから…
- ⑤:一緒に競技者と同じ場所で、動き、走り、大好きなサッカーいうスポーツができるということですかね！でも同じ場所で、動く、走るのは大変ですけど…



小沢氏

- ①:小沢 一哉(おさわ かずや)
- ②:約 13 年
- ③:子供が所属していたチームから、オヤジチームを立ち上げる事になり、事務局と審判を担当することになったため
- ④:私の身近に県審判部の方々が大勢いらっやっやって、いつもの確なアドバイス・ご指導を頂けたからだと思います
- ⑤:小学生からシニアまで、真剣勝負の場に一番近くで関わること(シニアは和気あいあいで行っていますが…)、あとは審判・選手達と仲間がたくさん出来ることです

### ※千葉市Pリーグについて

平成 14 年に創設され今年で 16 年目となり、主に 40 歳以上の選手達が月 1 回程度リーグ戦(公式戦)を行っています







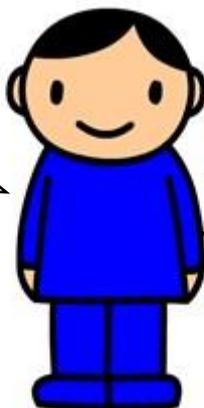
# レフェリーフィットフィットネスコラム

地域レフェリーフィットネスインストラクター 牛尾眞一郎 ushishi2010@ybb.ne.jp

## 今回は、水分補給について！

### ヒトの水分循環

**消費**  
 呼吸(500ml)  
 +  
 発汗(500ml)  
 +  
 排尿排便(1,500ml)  
 =2,500ml = 2,500ml



**摂取**  
 食事(1,000ml)  
 +  
 体内合成(300ml)  
 = 1,300ml



牛尾 眞一郎

- ・ 日常生活における体内の水分消費(おおよそ)
- ・ 呼吸(500ml) + 発汗(500ml) + 排尿排便(1,500ml) = 2,500ml
- ・ 日常生活における水分摂取(おおよそ)
- ・ 食事(1,000ml) + 体内合成(300ml) = 1,300ml と言われています

意識して水分摂取しないと「2,500ml - 1,300ml = 1,200ml」で慢性的に1,200ml体内の水分は、不足して脱水状態になっています。脱水状態になると血液の粘性が増し、疲労物質が分解されずに残ったり、筋の収縮がスムーズにできなくなったり、肉離れを受傷するリスクが増したりするだけでなく、100%のパフォーマンスが発揮できません。

### 水を飲むだけでは回復できない!?

水を飲んででも身体の水分(体液)が十分には回復しない!?! 自発的脱水とは…

身体に水分を補給するとき、水だけをとると逆効果になる場合があります。

水だけを飲み続けると、体液の濃度を一定に保とうとする身体の働きによって、過剰な水を尿として身体の外へ出してしまいます。そのため、身体の水分の量が十分に回復できない現象(自発的脱水)が起こるのです。同時に、体液の濃度をこれ以上薄まらないようにするために、脱水から回復していないのにのどの渇きがおさまり、水分不足を自覚できなくなる危険もあります。

私たちの身体には、ほぼ0.9%のナトリウムを含んだ血液が循環しています。また汗をかいた肌をなめると塩辛い味がすることからわかるように、汗にはナトリウムが含まれています。大量に汗をかいてナトリウムが失われたとき、水だけを飲むと血液のナトリウム濃度が薄まり、これ以上ナトリウム濃度を下げないために水を飲む気持ちがなくなります。同時に余分な水分を尿として排泄します。この状態になると汗をかく前の体液の量を回復できなくなり、運動能力が低下し、体温が上昇して、熱中症の原因となるわけです。

### 塩分(ナトリウム)と糖分を含んだ水分補給が効率的

熱中症予防の水分補給として、日本体育協会では、0.1~0.2%の食塩(ナトリウム40~80mg/100ml)と糖質を含んだ飲料を推奨しています。特に1時間以上運動をする時は4~8%の糖質を含んだものを摂取しましょう。冷えたイオン飲料や経口補水液の利用が手軽ですが、自分で調製するには1リットルの水、ティースプーン半分の食塩(2g)と角砂糖を好みに応じて数個溶かしてつくることもできます。

長時間運動を続ける場合には、ナトリウム濃度をやや高くすることが必要です。トライアスロンなど長時間の運動では、血液のナトリウム濃度が低下して、熱けいれんが起こることが報告さ



れています。

また、糖を含んだ飲料が推奨される理由としては、腸管での水分吸収を促進することが挙げられます。主要な糖であるブドウ糖は、腸管内でナトリウムが同時にあると速やかに吸収されます。そしてそれらに引っ張られ水分も吸収されるといのがそのメカニズムです。

#### [Cooling Break※2]

前後半1回ずつ、それぞれの半分の時間が経過した頃に3分間の[Cooling Break]を設定し、選手と審判員は以下の行動をとる。

- ① 日影にあるベンチに入り、休む。
- ② 氷・アイスパック等でカラダ(頸部・脇下・鼠径部)を冷やし、必要に応じて着替えをする。
- ③ 水だけでなくスポーツドリンク等を飲む。

#### <留意点>

- ・原則として試合の流れの中で両チームに有利・不利が生じないようなアウトオブプレーの時に、主審が判断して設定する。
- ・戦術的な指示も許容する。
- ・チームが、カラダを冷やすための器具を持ち込む際は、事前に大会運営責任者の了解を得る。
- ・審判員は[Cooling Break]の時間を遵守するため、試合再開時には選手に速やかにポジションに戻るよう促すと同時に、出場選手の確認を行う。
- ・サブメンバーは出場メンバーとの識別のため必ずビブスを着用する。運営担当者は試合再開時に出場メンバーの確認について審判員をサポートする。
- ・[Cooling Break]に要した時間は「その他の理由」によって費やされた時間として前後半それぞれの時間に追加される。
- ・[Cooling Break]を設定する場合は試合前またはハーフタイム時のロッカーアウトまでに両チームに伝達する。また、WBGT値に応じて、前半と後半の対応が異なる場合がある。

#### (参考... 飲水タイム)

- ・前後半それぞれの半分の時間を経過した頃、試合の流れの中で両チームに有利、不利が生じないようなボールがアウトオブプレーの時に、主審が選手に指示を出して全員に飲水をさせる。もっとも良いのは中盤でのスローインの時であるが、負傷者のための担架を入れた時や、ゴールキックの時も可能である。
- ・選手はあらかじめラインの外に置かれているボトルをとるか、それぞれのチームベンチの前でベンチのチーム関係者から容器を受け取って、ライン上で飲水する。
- ・主審、副審もこの時に飲水して良い。そのために第4の審判員席と、第2副審用として反対側のタッチライン沿いにボトルを用意する必要がある。
- ・スポーツドリンク等、水以外の飲料の補給については、飲料がこぼれて、その含有物によっては競技場の施設を汚したり、芝生を傷めたりする恐れもある。大会主催者が水以外の持ち込み可否及び摂取可能エリアについて、使用会場に確認をとって運用を決定するので、その指示に従って、飲水する。
- ・飲水タイムは30秒から1分間程度とし、主審は選手にポジションにつくよう指示してなるべく早く試合を再開する。飲水に要した時間は、「その他の理由」により空費された時間として、前、後半それぞれに時間を追加する。
- ・時間の経過にともなって環境条件がかなり変わった場合は、飲水を実施するかしないかの判断をハーフタイムに変更してよい。
- ・飲水を行う場合は、試合前(あるいはハーフタイム時)に両チームにその旨を知らせる。
- ・飲水タイムは、あくまでも飲水のためである。
- ・飲水タイムとは別に、従来どおり、ボールがアウトオブプレーのときにライン上で飲水できる。

Cooling Breakと飲水タイムの違いもしっかりと理解してスムーズなレフェリングにつなげていきましょう！

これからもウォーミングアップ、クールダウン、トレーニング方法、走り方、リカバリー方法、栄養など一緒に勉強していきましょう

ご質問、勉強したいことありましたらどんどんご連絡ください。

レフェリーフィジカルコーチ 牛尾眞一郎 [ushishi2010@ybb.ne.jp](mailto:ushishi2010@ybb.ne.jp)

## 試合前の「打ち合わせ」について

皆さん、試合前にレフェリーチームとして打ち合わせはしておりますか？

試合中、いいチームワークをするためには欠かすことができないものだと皆さんも認識されていることと思います。過去にも何度かレフェリーニュースでもご紹介をしておりますが、具体的にどのようなことを確認したらいいのかを改めて確認しましょう！

### 試合前「打ち合わせ」メモ

1. 自己紹介
2. 主審、副審、第4の審判員の確認
3. 大会要項の確認
4. 試合前の用具チェック場所の確認、開始時間、各審判員の役割
5. 時計の時刻合わせ
6. 主審のとり対角線と副審サイドの確認
7. 反則の合図
8. オフサイド及び副審の合図
9. ゴールインの合図
10. スローインの監視の分担
11. FK時の対応
12. 第4の審判員との協力
13. 重大な場面での役割分担
14. 試合の記録
15. 試合終了時の合図
16. 試合終了後終了後のフィードバックの場所と時間

※点線に沿って切り離して中央から谷折りにすると、審判記録カードケースに折りたたんで使用できます

試合のリーダーは主審です。試合を成立させるには、試合中どのようなチームワークを発揮すればいいのでしょうか。主に上記の内容に添って主審が打ち合わせを進めましょう。副審、第4の審判員と分けて伝えるとそれぞれが何をお願いされているのがわかりやすいでしょう。

#### 【全員で】

##### 1. 自己紹介

主審の司会進行により打ち合わせを始めましょう。毎回同じ人と組む訳ではありません。当日初めて会う人もいます。名前もあやふやなままではいいチームにはなれませんよね？

まず、主審は自分が誰なのかを名乗り、他の審判員にも自己紹介をしてもらいましょう。ご自身のサッカー歴なども披露しあうと打ち解けるきっかけになるかも知れませんね。

- ・フィールドとその周辺との境界線の確認(退場者、退席者が出た場合にどこまで離れてもらうか)
- ・ボールの管理(マルチボールの場合は使用球の数と配置位置)
- ・担架の数および役員の有無
- ・交代ボードの有無
- ・WBGT(黒球式熱中症指数計)の確認(飲水タイムやクーリングブレイクの有無)
- ・落雷や災害時の対応の確認
- ・試合開始前のセレモニー(挨拶や握手のほか、黙とうや写真撮影など)の確認

##### 4. 試合前の用具チェック場所の確認、開始時間(集合時間)、各審判員の役割

チームや運営本部とのミーティングがある場合にはその場で確認を取ることも多いですが、試合開始何分前に選手をどこに集合させ用具のチェックをするのか、誰が何の確認を担当するのかを打ち合わせて確認しておきましょう。

## 5. 時計の時刻合わせ

キックオフを正確な時刻で行うために、お互いの時計の時刻が合っているかを確認しましょう。

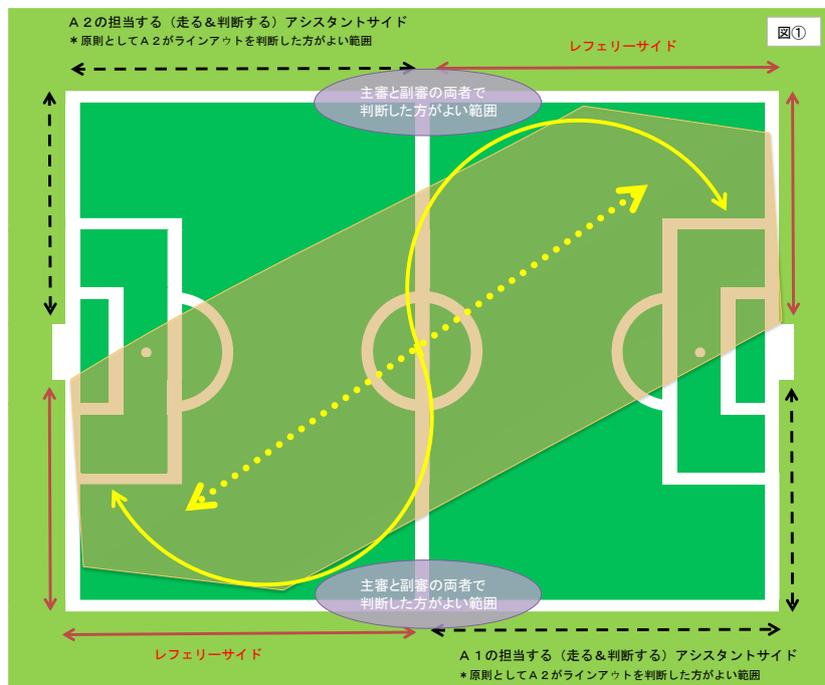
確実に正確な時刻に時計を合わせるために、時報(117)で確認するといいでしょ。

### 【副審】

## 6. 主審のとり対角線と副審サイドの確認

通常は、対角線式審判法によって審判を行うことと思います。対角線式審判法とは基本的に主審と副審がお互いにプレーを挟んで、比較的プレーの近くで監視する審判法です。(図1)

対角線式審判法によって、どのあたりのエリアまで副審の積極的なサポートを求めるのか(どのあたりは主審が主体的に責任を持って監視するのか)、またどういつ(例:副審が、主審からは明らかに監視できていないであろう反則を見た時)にサポートが欲しいかなどを伝えます。上記のようなフィールドの図を用いて説明するとイメージが付きやすいでしょう。



※対角線式審判法の詳細については、競技規則を参照して下さい。

## 7. 反則の合図

競技規則で例示されている合図のほかに、主審の見えなかった反則が起きている時、笛が吹かれた時に主審のいる位置からはペナルティエリアの内外の判別が難しい時、ペナルティキックが行われている際に反則が起きている時(例:GKの飛び出し)など、どういう合図を送るのかを決めておくといいでしょ。

## 8. オフサイド及び副審の合図

副審が旗を上げた(フラッグアップ)時に主審が気が付かなかった場合、逆に副審が旗を上げて主審はオフサイドではない、と判断して採用しない場合、早めのフラッグアップが必要な時(例:FWとGKが衝突しそうで安全を優先した判断が求められる場合)など、オフサイドの判定で起こりうる事象を具体的にイメージができるように対応方法をどうしたらいいのかを伝えておくといいでしょ。

## 9. ゴールインの合図

誰が見ても明らかなゴールインの場合、副審はゴールインを確認したがボールはフィールド内に戻って(かき出されたりして)プレーが続いている場合、ボールがゴールに入る前に反則を確認した場合などのアイコンタクトのとり方と合図を決めておきましょう。

## 10. スローインの監視の分担

お互いがボールを投げ入れるスローワーの動作の全体を監視するのか、上半身と足元を主審、副審で分担して監視するのかを決めておきましょう。

## 11. FK時の対応

副審に近い位置でFKが行われる際に、守備側競技者に規定の距離を守らせるために副審に介入をお願いする時や、直接ゴールが狙えそうな状況で副審にオフサイドラインではなくゴールラインの監視をお願いしたい場合、主審はどのような合図をするのかなど打ち合わせておきましょう。

## 【第4の審判員】

### 12. 第4の審判員との協力

試合中のベンチへの対応（テクニカルエリアに複数の役員が出て指示したり、判定に対してどのような反応を見せたら制止をしてほしいか、なるべく具体的な事例を交えて打ち合わせてみましょう）、交代の手続き（メンバー表と交替用紙、選手証との登録間違いがないか、の確認と用具の安全確認）、アディショナルタイムの表示（表示する時間を確認する方法や、表示すべきタイミングで交代手続きと重なって表示できなかった時などの確認）、ベンチ内の交代要員等の警告、退場及び役員の退席相当の行為を確認した時や、主審や副審が見ていなかった重大な反則発生時にどういうタイミングで伝えるか、けが人が出た時の対応（主審がどのような合図を送ってきたらチーム役員や担架をフィールド内に入れて良いか）、出血した競技場者が止血したことの確認と主審への合図、用具の不備や交換から復帰する場合の用具の確認と主審への合図など…。具体的にお願いをしましょう。

※第4の審判員のお仕事内容についてはまたの機会にご紹介します！

## 【全員で】

### 13. 重大な場面での役割分担

例えば、プレーの再開方法（直接フリーキック、間接フリーキック、ドロップボールなど）の誤り、2枚目の警告で退場を命じない時など、確認したり伝えなくてはいけないことがあった際に副審や第4の審判員が主審にどのような方法を使って合図をするのか明確にしておきましょう。

### 14. 試合の記録

交代や得点、警告、退場の際には、間違いがないようにしっかり4人で確認し記録をするために、各審判員の役割と記入のタイミングについても確認しましょう。

例えば、得点後は得点を確認した副審が先に記録し、反対側の副審はその間に反スポーツ的行為や対立が起こる可能性を考慮して監視を行い、先に記録をした副審または主審が記録を終えたのを見計らってから記録を行うのかの確認をしましょう。同様に第4の審判員の記録のタイミングや内容なども確認しましょう。

### 15. 試合終了時の合図

終了予定時刻になっても主審が気づかない場合にどのような対応をとり、合図（例：時計を叩く動作）を送るのかを確認しましょう。

## 【打ち合わせではありませんが…】

### 16. 試合終了後のフィードバックの時間、場所

試合終了後に、審判インストラクター（アセッサー）がいる場合にはどこでフィードバックを行うかの確認もしておきましょう。

これらがすべてではありません。自分が主審を担当した際に、どのような協力をしてもらいたいのか、具体的に試合中に困ったことがあった時にどのような協力をしてもらいたいと思ったのかを伝えましょう。

主審だけではなく、副審を担当する際にどのようなサポートをしようと思うのかも大切です。

また、一緒に組む審判員は、何度も組んでいる人や上級審判員、帯同審判員や初めて試合を担当する人など様々です。相手の経験によって伝える内容を変える必要もあります。

一緒に組んだ主審の方はどのような打ち合わせをしていましたか？レフェリングと同様、いいなと思った打ち合わせの方法があれば、自分が主審をする時の打ち合わせにも取り入れてみましょう！

※次回は第4の審判員に対して打ち合わせする時の内容を掲載予定です。



## 《2017年度 第2回 サッカー2級審判員推薦審査のお知らせ》

(この審査は2018年4月に行われる(一社)関東協会2級昇級試験に推薦するためのものです)  
2級審判員へ昇級を希望する方は、下記の方法によりご応募願います。

### 1. 資格要件

- (1) 受験資格：2017年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のどちらかを有していること。
  - ①サッカー3級審判員として30試合以上の審判を行っていること。
    - a. 30試合のうち、公式戦(千葉県主催以上)であり主審実績が15試合以上。
    - b. 4種の試合(8人制を含む)は、1日2試合(2試合とも主審)までを通常の1試合と判定する。
    - c. フットサル・ビーチサッカーの試合は含まない。
  - ②サッカー2級審判員として活動するにあたる顕著なサッカー歴を有している者。  
注意：顕著なサッカー歴については(公社)千葉県サッカー協会が判断する
- (3) 健康など
  - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。  
(職場や学校などの定期健康診断を含む)
  - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動  
2級審判員に昇級後は、(公財)日本協会や(一社)関東協会、(公社)千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

### 2. 資格審査

- (1) (一社)関東サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、18歳以下の者が推薦審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

### 3. 推薦審査

- 第1次審査：書類審査
  - ① 審判実績確認：REFEREES' DIARY(サッカー審判員用)審判記録コピー(30試合以上)及び実績記載用紙の提出による。【公式戦(千葉県主催以上)・主審実績(15試合以上)】  
4種の試合(8人制を含む)は、1日2試合(2試合とも主審)までを通常の1試合と判定する。  
※審判委員会ホームページの推薦審査(S2)実績記載用紙を使用して提出
  - ② 昇級認定審査参加申込書による。  
※審判委員会ホームページの推薦審査(S2)申込書を使用して提出
- 第2次審査：第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
  - ・ 2017年10月9日(月・祝)野田市総合公園 陸上競技場
  - ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの)80点以上
  - ・ 体力試験(詳細は後日発表)
  - ・ 講義(2次審査当日合否発表後)  
合格者に2級審判員として必要な講義を約2時間実施する。
- 第3次審査：2次審査合格者に対して、実技審査を実施
  - ・ 2試合以上実施する。  
2試合ともに審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

## 《2017年度 第2回 サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ》

3級審判員へ昇級を希望する方は、下記の方法によりご応募願います。

### 1. 資格要件

- (1) 受験資格：2017年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー4級審判員として登録していること。

(2) 次の審判実績のどちらかを有していること

①サッカー4級審判員として10試合以上の審判を行っていること。

- a. 10試合のうち、8試合以上主審を務めていること。
- b. 4種の試合について(8人制を含む)は、1日2試合までを審判実績として計上できる。
- c. フットサル・ビーチサッカーの試合は含まない。

②サッカー3級審判員として活動するにあたる顕著なサッカー歴を有している者。

注意:顕著なサッカー歴については(公社)千葉県サッカー協会が判断する

(3) 健康など

① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。

(職場や学校などの定期健康診断を含む。)

② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

3級審判員に昇級後は、(公社)千葉県協会の審判活動に積極的に従事できること。

## 2. 資格審査

(1) (公社)千葉県サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。

(2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。

(3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

## 3. 認定審査

### ● 第1次審査; 書類審査

① 審判実績確認:REFEREES'DIARY(サッカー審判員用)審判記録のコピー提出による。

② 昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの昇級認定審査(S3)申込書を使用して提出

### ● 第2次審査; 第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

・ 2017年10月9日(月・祝)野田市総合公園 体育館・陸上競技場

・ 筆記試験(競技規則等に関するもの)80点以上

・ 体力試験(詳細は後日発表)

・ 講義(2次審査当日合否発表後)

合格者に3級審判員として必要な講義を約2時間実施する

※ 詳細等が決定次第、Webサイトに掲載致します。

## 《2017年度 第2回 フットサル2級審判員推薦審査のお知らせ》

(この推薦予備試験は平成29年10月(予定)に行われる(一社)関東協会2級昇級試験のための予備テストです)

フットサル2級審判員の昇級を希望する方は、下記の方法によりご応募願います。

### 1. 資格要件

(1) 受験資格:2017年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員として登録していること。

(2) 次の審判実績を有していること

① フットサル3級審判員として、資格取得後1年以上で、15試合以上の審判を行っていること。

- a. 15試合は、都道府県リーグ2部以上のフットサルの試合の主審あるいは第2審判として審判したものを計算する。

② サッカー2級審判員

(3) 健康など

① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。

(職場や学校などの定期健康診断を含む)

② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

フットサル2級審判員に昇級後は、(公財)日本サッカー協会や(一社)関東サッカー協会、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

### 2. 資格審査

(1) 関東サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。

(2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。

(3) 申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

### 3. 推薦審査

#### ● 第1次審査；書類審査

① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。

② 昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの推薦審査(F2)申込書を使用して提出

#### ● 第2次審査；第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

- ・ 2017年10月9日(月・祝) 野田市陸上競技場
- ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上

#### ・ 体力試験

1000m走 4分40秒以内

スピードテスト(10m) 12秒以内

アジリティーテスト(30m) 23秒以内

- ・ 講義『2次審査合否発表後 後日』

合格者に2級審判員として必要な講義を約2時間実施する

#### ● 第3次審査；2次審査合格者に対して、実技審査を実施

- ・ 3試合実施する。

3試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

### 4. 申込方法

① Webでの申込手続きを完了させてください。

推薦審査(F2)申込書と、審判証の写真側のコピー、審判実績15試合分以上のREFEREES 'DIARY審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申込みをしてください。

② 受験費用：2,000円

(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみです。当日現地での徴収は行いません)

※ 詳細等が決定次第、Webサイトに掲載致します。

## 《2017年度 第2回 フットサル3級審判員昇級認定審査のお知らせ》

2017年度、第2回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

### 1. 資格要件

(1) 受験資格：2017年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員、もしくはフットサル4級審判員として登録していること。

(2) 次の審判実績のうちどちらかを有していること

① フットサル4級審判員として主審、第2審判15試合以上の審判を行っていること。

a. 経験対象試合は、前後半を有するフットサルの試合で、1日2試合を限度とする。

② サッカー3級審判員。

(3) 健康など

① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。

(職場や学校などの定期健康診断を含む)

② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

フットサル3級審判員に昇級後は、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

### 2. 資格審査

(1) (公社)千葉県サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。

(2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。

(3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

### 3. 認定審査

#### ● 第1次審査；書類審査

① 審判実績確認：審判手帳のコピー提出による。

② 昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの昇級認定審査(F3)申込書を使用して提出

- 第2次審査；第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
  - ・ 2017年10月9日(月・祝) 野田市総合体育館／野田市陸上競技場
  - ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 70点以上
  - ・ 体力試験
    - 1000m 5分30秒以内
    - スピードテスト(10m) 14秒以内
    - アジリティーテスト(30m) 26秒以内
  - ・ 講義(合否発表後)
    - 合格者に3級審判員として必要な講義を約2時間実施する

#### 4. 申込方法

- ① Webでの申込手続きを完了させてください。  
**昇級認定審査(F3)申込書と、審判証(現在)の顔写真側のコピー、審判実績15試合分以上のREFEREES' DIARY審判記録用紙コピー**を添付し、郵送で申し込みをしてください。
  - ② 受験費用：2,000円  
 (徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)
- ※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

## 2017年度審判講習会のお知らせ(フットサル)

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。(申込方法・注意事項は?ページを参照下さい。)

#### カテゴリー審判員研修会

2017年9月 リーグ戦及び選手権の日程が決まり次第研修会を予定。(担当審判員に直接連絡いたします)

#### 帯同審判員対象フォローアップ研修会

2017年 9月 講義の研修会を選手権の二回目の代表者会議の日程が決まりましたら開催いたします。  
 (決定次第チームに連絡します)

### ◆各講習会等の申込について(サッカー・フットサル共通)◆

申込方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「KICKOFF(審判登録webサイト)」            (公社)千葉県サッカー協会ホームページ (<a href="http://www.chiba-fa.gr.jp/">http://www.chiba-fa.gr.jp/</a>) トップページの右上にあるバナーから利用出来ます。            (毎日、午前2時頃～午前6時頃まではメンテナンスのためご利用頂けませんので、ご注意ください。)</li> <li>● 支払完了画面まで画面の説明をよく読んで進んでください。</li> <li>● 申込途中で画面が進まなくなり切断・中止された方、支払完了画面まで行かなかった方、申込みを済ませたが講習会費用を支払っていない方等、受講確定になっていないので<b>再度最初から</b>(受付整理番号は無視して)やり直してください。</li> </ul>
申込期限	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「KICKOFF(審判登録webサイト)」では、期限を過ぎると申込みが出来なくなりますので、ご注意ください。</li> </ul>
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当日の持ち物や諸注意は、申込みの際の講習会の詳細でご確認ください。</li> <li>● 振込みに掛かる手数料については、各自でご負担願います。</li> <li>● 講習会受講後に審判証とワッペン等が(公財)日本サッカー協会から送られてきます。</li> <li>● 郡市協会主催の更新講習会は、別途会場費がかかる場合がございますので、必ず詳細を確認してください。</li> </ul>
問合せ先	<p>(公社)千葉県サッカー協会 TEL:043-310-4888 (審判担当)</p> <p>営業時間：月～金曜日の9:00～17:30</p> <p>※各会場への問い合わせは厳禁とします。</p> <div style="text-align: right;">    </div>

## 強化部より ～ 活動報告と強化審判員（G1～G3）の紹介 ～

堀川 栄多

強化部では4月から強化審判員をメインターゲットに事業展開しており、残念ながら活動の状況を皆様へお伝えする機会が少なくなっていました。そこで強化審判員のメンバーと強化部の活動内容を知って頂くようレフェリーニュースへ投稿させていただきます。

### 強化審判員のメンバー紹介

今回は2級強化審判員の最上位カテゴリー(G1～G3)に所属する4名にスポットを当てます。

彼らは日夜、昇級を目指して県内はもとより関東各地を飛び廻っています。今年から関東協会を導入しているコーチ制度やその他新しい動向を含めて千葉県の方々にコメントを寄せて貰いました。

女子1級受験に挑戦させていただくことになりました。千葉県の代表として自分の強みである運動量を活かし、精一杯走ります。個人的な今年の取り組みとして、男子の試合を中心にスピードに慣れるトレーニングを行っています。関東協会および千葉県協会の方々の手厚いサポートのおかげで、常に集中した活動ができています。 上田千尋

今年から関東協会では、2級審判員を8つのグループに分けて[G1(1級候補)～G8(コース)], 割当や研修会に反映しています。G1,G2以外は都県からリストアップする、ということで、ベースである千葉県での活動がどれだけ重要であり、今後に繋がっていくか、という点が、更に鮮明になったと感じています。 松田卓磨

我々は今年から導入されたコーチ制度(1グループ: 4人の強化審判員と1人の指導者、G1～3対象)の対象として、メールや電話も用いて、毎試合作成する指導レポートや映像をもとにコーチからフィードバックを受けています。短期的に解決できる課題や長期的な課題などが明確化され、自身のスキルアップに繋がっています。 石原美彦

新たな取り組みが始まったのは関東だけでなく、千葉県でも試合映像を共有して強化審判員同士の試合を分析できるような取り組みが始まっています。多くの審判員の方々から意見をいただき、課題発見とその改善に取り組むサイクルを繰り返して経験値を重ね、今シーズン結果を出せるように取り組んでいきます。 森田秀一

### 強化部の事業紹介

強化部では概ね月一回の研修会とテンポラリーで開催するミニ研修会を実施しており、今後は競技規則改正説明会(7月)、フィジカルトレーニング(7月)、宿泊研修(10月)を予定しています。また、新たな取り組みとして試合をビデオ撮影し、Web上で分析する活動も試行しています。今後はインストラクター部が派遣するアセッサーからの報告書を速やかに分析・修正指導し、審判員の技量向上を通じて質の高い試合環境の提供に努める考えです。

すべての研修についてオブザーバーの参加を受け付けていますので興味のある方は堀川

(e.horikawa@jcom.home.ne.jp)までご一報下さい。

### 最後に

『強化審判員の人選基準＝千葉の皆さんが上位カテゴリーで活躍してほしい若手審判員』と考えています。現メンバーには愛情を持って時には厳しくご指導して頂けると幸いです。また、自薦他薦問わず相応しい人材や相応しくない行動等がありましたらお寄せ頂きたいと思っております。



1. 強化研修会 (第1回、第2回は実施済み)
  - ① 6/11～18 第3回 (県総体 実技)
  - ② 7月 第4回 (競技規則・フィジカル)
  - ③ 10月 第5回 (高校選手権 宿泊)
  - ④ 12月 第6回 (振返り)
  - ⑤ 1月 第7回 (トレーニング)
  - ⑥ 2月 第8回 (新人戦 実技)
  - ⑦ 3月 第9回 (開幕前研修会)
2. 一級候補サポート (適宜指導)
3. ビデオ分析 (1回/月を目安)

## ●○○●○郡市協会だより○○●○○

【我孫子市】

### ～千葉県大学サッカー選手権準決勝にて観戦研修を実施～

千葉県大学サッカー選手権準決勝が5月21日に我孫子で行われ、市の3級審判員を集めて観戦研修をさせていただきました。

日頃は3種、4種の審判活動が多く、試合後の振り返りで自己完結型(あるいは自己満足型)に成り易く見ることので生まれる気付き(最終的には意識改革)を目指しました。上位の種別の試合、さらに上級審判員のスピードと運動量の豊富さに驚き前半終了、後半は自分だったら警告を出すプレーに直接フリーキックだけのファウル「なぜ?」、選手をリスペクトしつつ良いコミュニケーションを取りながら試合をコントロールする上手さに感心しきりの観戦研修となりました。見ることで感じられたものを今後の審判活動で試し、レベルアップしてさらに上級を目指して欲しいこと、もう一つは見る目を養うことで良き指導者になって欲しいものと考えています。

我孫子市では、“審判は楽しい(辛いことも含め)”を指導目的に研修会を行っています。今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

我孫子市サッカー協会 審判委員会インストラクター部 柳澤 幹夫

### ～ アンケートご協力のお願い ～

REFEREE NEWSについて、皆様のご意見、ご要望をお聞かせいただきたく、アンケートを実施しています。どうぞ協力よろしくお願ひします。

<https://goo.gl/zGHbdx>

(右のQRコードを携帯電話、スマートフォン等のカメラで読み取るとアクセスできます。)



### 広告主さま募集しています

- ・千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
- ・募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
- ・この枠が1枠の大きさの目安です。  
詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局(TEL 043-310-4888)にご連絡をお願いいたします。



### 編集後記

2017年度永年功労表彰の表彰者の皆様、誠にめでとうございます。また、今回の「今日も地域で頑張っています!!」で取材した皆様も大ベテランという事で、これまで元気に審判をされて来られた方々が、千葉県のサッカーを支えているのだと実感しました。ベテランの審判員の方々に負けないよう、このレフェリーニュースが若い世代の審判員にも刺激になれば!と、思っています。

(HASE)

### レフェリーニュース編集員

染田 洋

唐崎 敦好

木川 綾

長谷川 鉄哉

公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会

E-mail: cfarc.somu@gmail.com



<http://cfa-referee.lolipop.jp/>

